

資料1

令和 8 年 7 月
川越市青少年問題・いじめ問題対策連絡協議会
教 育 指 導 課

1 いじめの認知件数(令和7年度 第3回 生徒指導に関する調査 速報値)

	R7	R6	R5	R4	R3	R2
小学校	4315	4632	4700	4027	4185	4165
中学校	845	808	849	728	630	455
特別支援学校	2	0	0	1	2	6
市立高等学校	0	1	3	2	1	0

2 いじめの解消率(各年度末現在)

	R7	R6	R5	R4	R3	R2
小学校	79.1%	88.6%	85.7%	87.7%	84.0%	63.0%
中学校	81.9%	89.2%	89.5%	85.3%	91.3%	64.0%
特別支援学校	100.0%	—	—	100.0%	50.0%	0.0%
市立高等学校	—	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—

いじめの解消件数

解消件数	R7
小学校	3414/4315
中学校	692/845
特別支援	2/2
市立高校	—

※令和7年度のいじめについては令和8年度に追跡し、100%の解消を目指していく。

※いじめが「解消している」状態

いじめは、単に謝罪をもって安易に解消とすることはできない。いじめが「解消している」状態とは、少なくとも次の2つの要件が満たされている必要がある。(中略)

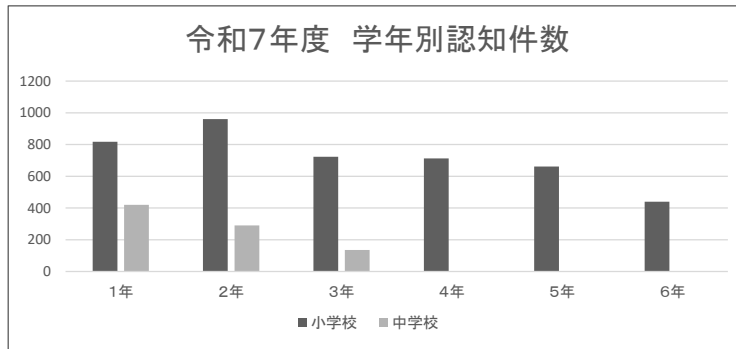
- ①いじめが止んでいる状態が相当期間継続していること(少なくとも3か月を目安とする)
- ②いじめを受けた児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと(いじめを受けた児童生徒本人及びその保護者に対し、心身の苦痛を感じていないかどうかを面談等により確認する)

3 いじめの態様別内訳【率(件数)】

主な区分	小学校			中学校		
	R7	R6	R5	R7	R6	R5
①冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	54.0% (2330件)	50.4% (2496件)	49.7% (2337件)	53.4% (451件)	54.4% (448件)	54.2% (460件)
②仲間はずれ、集団による無視をされる。	9.7% (417件)	10.0% (498件)	9.1% (428件)	7.8% (66件)	8.4% (69件)	5.7% (48件)
③軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。	25.0% (1078件)	23.4% (1162件)	24.5% (1151件)	15.1% (128件)	10.7% (88件)	8.2% (70件)
④パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。	0.7% (32件)	0.5% (23件)	0.4% (17件)	4.3% (36件)	4.1% (34件)	4.0% (34件)

4 いじめの学年別内訳(R7)

	認 知 件 数						合 計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
小学校	818	960	723	712	662	440	4315
中学校	420	290	135				845



5 不登校児童生徒数

	令和7年度						合 計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
小学校	22	44	60	73	100	111	410
中学校	172	199	226				597

令和6年度
合 計
399
556

※ 数値は、すべて「令和7年度 第3回生徒指導に関する調査」による